

稲荷木・田尻・鬼高地区の4月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路株の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。

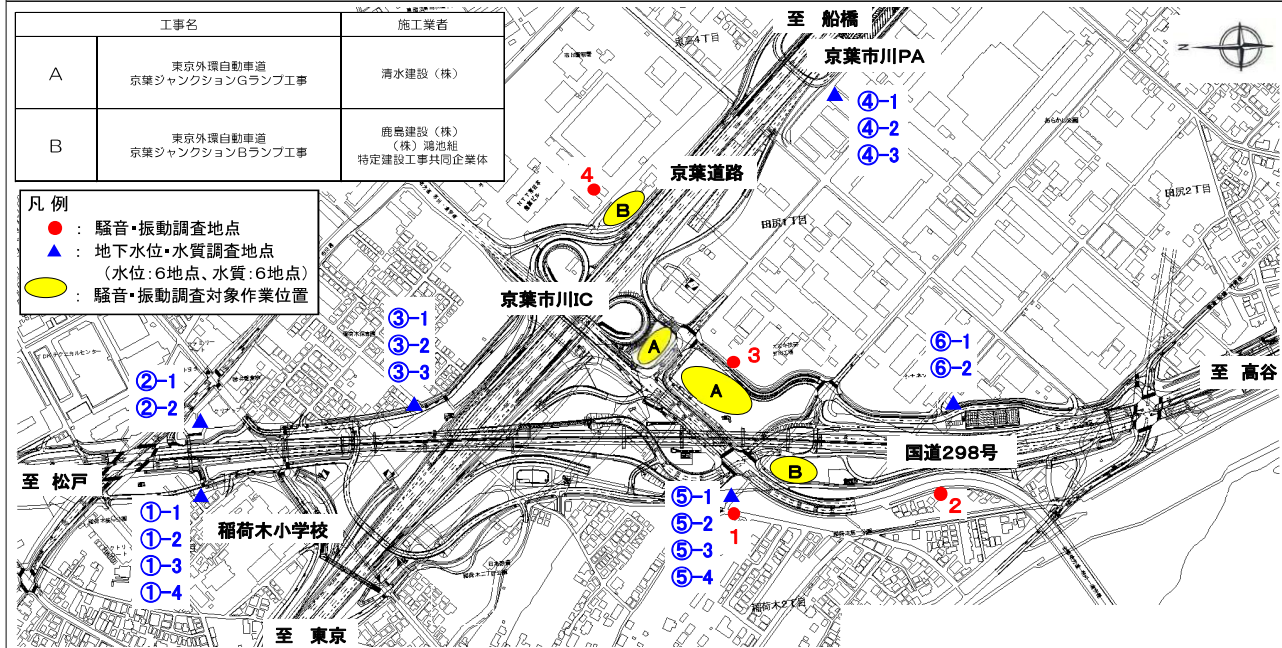
東日本高速道路株千葉工事業所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動調査、地下水位及び地下水質についての調査を毎月実施しております。

■連絡先：東日本高速道路株

千葉工事業所 技術課

TEL:043-350-3342

1.調査項目および調査地点



1.騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。

○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル L_{A5} (dB)	振動レベル L_{10} (dB)	調査日
1	京葉ジャンクション Bランプ工事	56	35	4月22日 昼間(8時~17時)
2	京葉ジャンクション Bランプ工事	65	44	4月22日 昼間(8時~17時)
3	京葉ジャンクション Gランプ工事	66	46	4月22日 昼間(8時~17時)
4	京葉ジャンクション Bランプ工事	64	42	4月22日 昼間(8時~17時)
法律による規制基準		特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準	特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準	
		85	75	

解説

●騒音レベル L_{A5}

騒音の大きさを騒音レベルといい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。

●振動レベル L_{10}

騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

2.地下水質調査結果(採水日:R7年4月22日、23日)

地下水質調査結果を下の表に示します。

毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。

○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①				②		③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
pH	7.3	7.9	8.3	8.2	8.3	8.5	8.2	7.8	8.2
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
調査地点	④				⑤		⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑤-4	⑥-1	⑥-2
pH	8.0	8.5	8.3	7.4	7.9	8.3	8.4	8.1	7.9
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

解説

●pH(水素イオン濃度)

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7が中性であることを表しております。

●六価クロム

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.02mg/リットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、当試験において六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

3.地下水位調査結果

地下水位の調査結果を下の表に示します。

○地下水位の低下が一部で確認されました。
引き続き注視していきます。

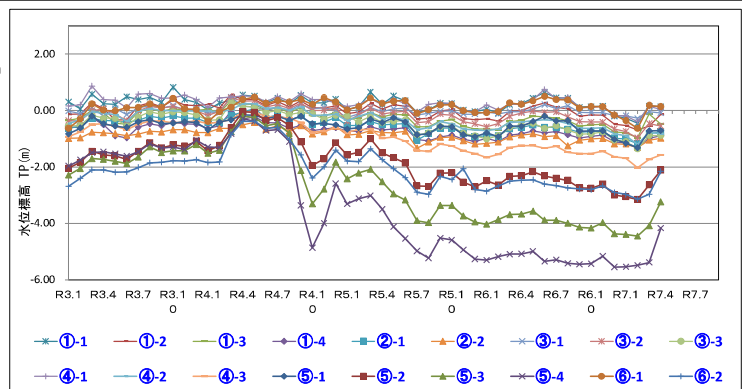
単位: T.P.m

調査地点	①				②		③			
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3	
R7	2月	-0.450	-0.690	-0.960	-1.300	-1.170	-1.310	-0.280	-0.970	-1.360
	3月	0.160	-0.550	-0.120	-0.980	-0.820	-1.050	-0.250	-0.460	-0.880
	4月	0.140	-0.140	-0.480	-0.890	-0.760	-0.980	-0.090	-0.250	-0.890
調査地点	④				⑤		⑥			
	④-1	④-2	④-3	④-4	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑤-4	⑥-1	⑥-2
R7	2月	-0.390	-1.190	-2.020	-1.320	-3.150	-4.450	-5.490	-0.630	-3.140
	3月	0.150	-0.770	-1.730	-0.720	-2.630	-4.080	-5.380	0.180	-2.960
	4月	0.030	-0.830	-1.570	-0.710	-2.110	-3.230	-4.170	0.140	-2.150

解説

●T.P.m

東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。



稲荷木・田尻・鬼高地区の5月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路株の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。

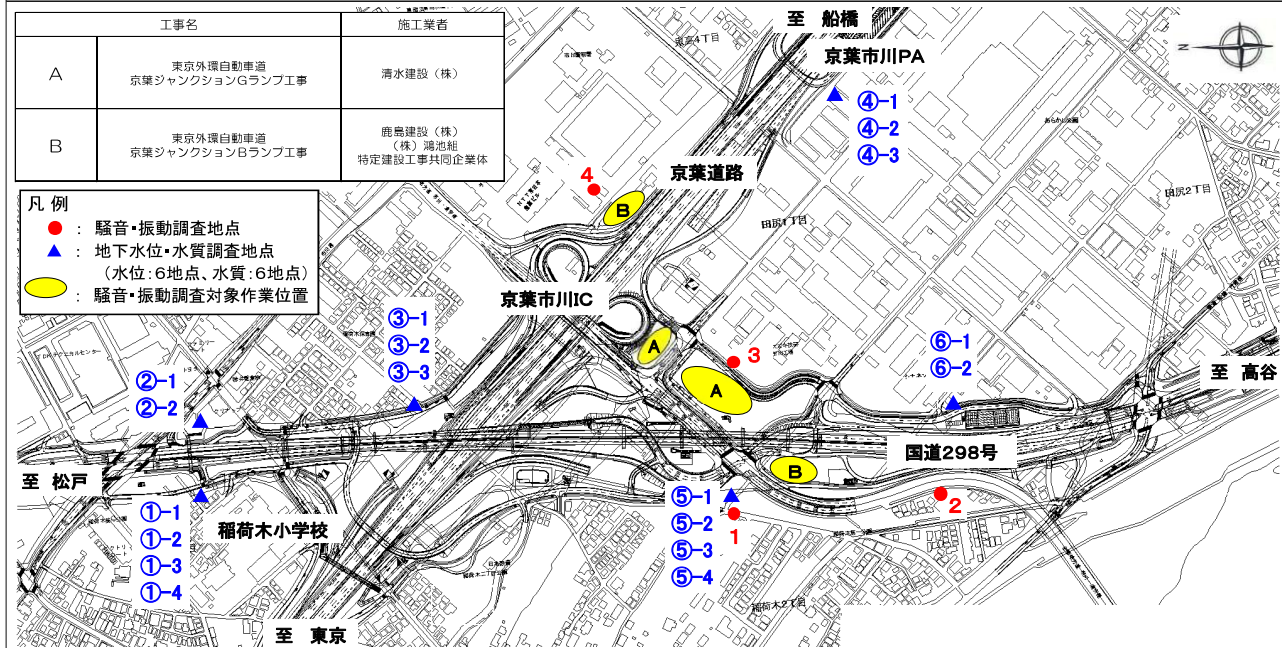
東日本高速道路株千葉工事業所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動調査、地下水位及び地下水質についての調査を毎月実施しております。

■連絡先：東日本高速道路株

千葉工事業所 技術課

TEL:043-350-3342

1.調査項目および調査地点



1.騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。

○法律による規制基準を測定しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル L_{A5} (dB)	振動レベル L_{10} (dB)	調査日
1	京葉ジャンクションBランプ工事	56	34	5月23日 昼間(8時~17時)
2	京葉ジャンクションBランプ工事	65	44	5月23日 昼間(8時~17時)
3	京葉ジャンクションGランプ工事	62	45	5月23日 昼間(8時~17時)
4	京葉ジャンクションBランプ工事	62	41	5月23日 昼間(8時~17時)
法律による規制基準		特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準	特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準	
		85	75	

解説

●騒音レベル L_{A5}

騒音の大きさを騒音レベルといい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。

●振動レベル L_{10}

騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

2.地下水調査結果(採水日:R7年5月21日、22日)

地下水調査結果を下の表に示します。

毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。

○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①				②		③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
pH	7.3	7.9	8.1	8.1	8.2	8.3	7.9	7.5	8.0
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
調査地点	④				⑤		⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3
pH	7.6	8.2	8.0	7.0	7.5	8.0	8.1	7.5	7.6
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

解説

●pH(水素イオン濃度)

地盤改良等に使用するセメント系固結材は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7が中性であることを表しております。

●六価クロム

地盤改良等に使用するセメント系固結材は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.02mg/リットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、当該試験において六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

3.地下水調査結果

地下水位の調査結果を下の表に示します。

○地下水位の低下が一部で確認されました。
引き続き注視していきます。

に就いては以下のとおりです。

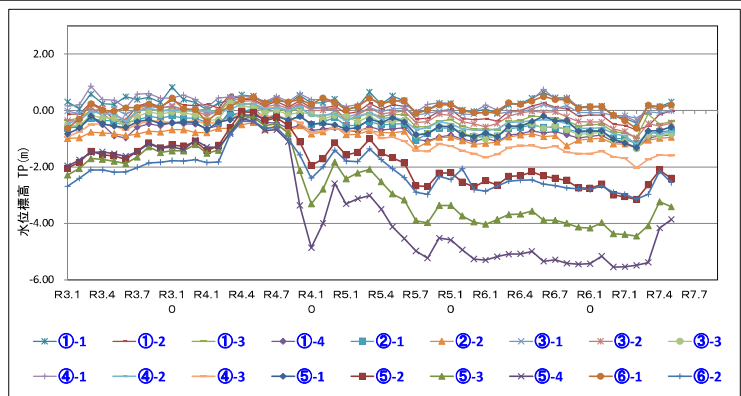
単位：T.P.m

調査地点	①				②		③			
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3	
R7	3月	0.160	-0.550	-0.120	-0.980	-0.820	-1.050	-0.050	-0.460	-0.880
	4月	0.140	-0.140	-0.480	-0.890	-0.760	-0.980	-0.090	-0.550	-0.890
	5月	0.300	-0.020	-0.390	-0.870	-0.710	-0.950	-0.010	-0.440	-0.830
調査地点	④				⑤		⑥			
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3	
R7	3月	0.150	-0.770	-1.730	-0.720	-2.630	-4.080	-5.380	0.180	-2.960
	4月	0.030	-0.830	-1.570	-0.710	-2.110	-3.230	-4.170	0.140	-2.150
	5月	0.250	-0.760	-1.600	-0.580	-2.400	-3.410	-3.860	0.200	-2.550

解説

●T.P.m

東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。



稲荷木・田尻・鬼高地区の6月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路株の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。

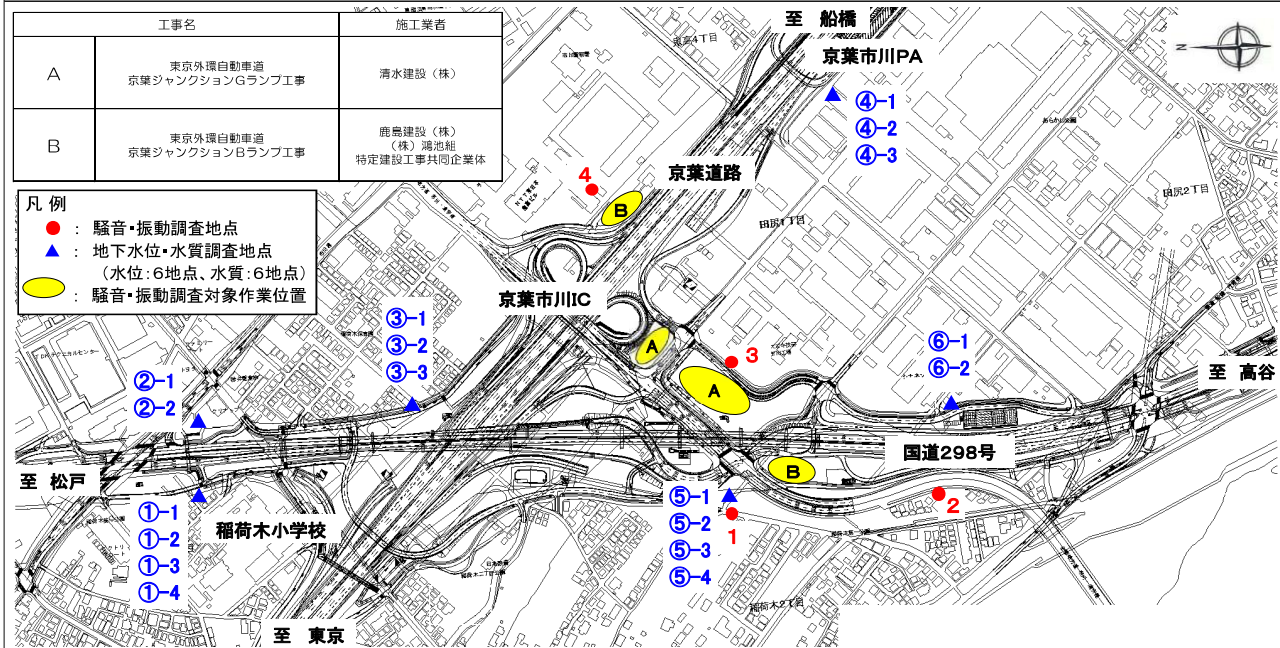
東日本高速道路株千葉工事業所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動調査、地下水位及び地下水質についての調査を毎月実施しております。

■連絡先：東日本高速道路株

千葉工事業所 技術課

TEL:043-350-3342

1.調査項目および調査地点



1.騒音・振動調査結果

稲荷木・田尻・鬼高地区の6月の調査結果のお知らせ
騒音レベル L_{Aeq} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。

○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル L_{Aeq} (dB)	振動レベル L_{10} (dB)	調査日
1	京葉ジャンクション Bランプ工事	56	36	6月20日 昼間(8時~17時)
2	京葉ジャンクション Bランプ工事	65	45	6月20日 昼間(8時~17時)
3	京葉ジャンクション Gランプ工事	66	48	6月20日 昼間(8時~17時)
4	京葉ジャンクション Bランプ工事	58	41	6月20日 昼間(8時~17時)
法律による規制基準		85	75	

解説

●騒音レベル L_{Aeq}

騒音の大きさを騒音レベルといひ、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{Aeq} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。

●振動レベル L_{10}

騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

2.地下水調査結果(採水日:R7年6月25日、26日)

地下水調査結果を下の表に示します。

毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。

○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①				②		③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
pH	7.6	8.0	8.2	8.2	8.3	8.3	8.0	7.6	8.2
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
調査地点	④				⑤		⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑤-4	⑥-1	⑥-2
pH	7.7	8.3	8.2	7.0	7.7	8.1	8.2	7.6	7.7
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

解説

●pH(水素イオン濃度)

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7が中性であることを表しております。

●六価クロム

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.02mg/リットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、当該試験において六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

3.地下水位調査結果

地下水位の調査結果を下の表に示します。
○地下水位の低下が一部で確認されました。
引き続き注視していきます。

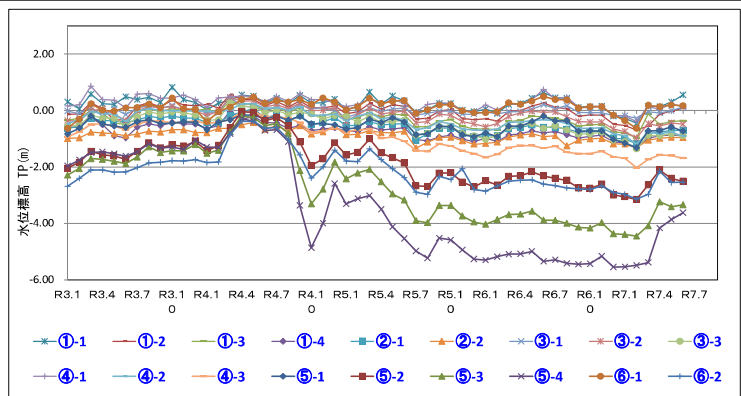
単位: T.P.m

調査地点	①				②		③			
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3	
R7	4月	0.140	-0.140	-0.480	-0.890	-0.760	-0.980	-0.090	-0.890	
	5月	0.300	-0.020	-0.390	-0.870	-0.710	-0.950	-0.010	-0.830	
	6月	0.550	0.080	-0.360	-0.890	-0.700	-0.960	0.130	-0.890	
調査地点	④				⑤			⑥		
	④-1	④-2	④-3	④-4	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑤-4	⑥-1	⑥-2
R7	4月	0.030	-0.830	-1.570	-0.710	-2.110	-3.230	-4.170	0.140	-2.150
	5月	0.250	-0.760	-1.800	-0.580	-2.400	-3.410	-3.880	0.200	-2.550
	6月	0.120	-0.910	-1.690	-0.730	-2.510	-3.340	-3.620	0.170	-2.540

解説

●T.P.m

東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。



稲荷木・田尻・鬼高地区の7月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路株の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。

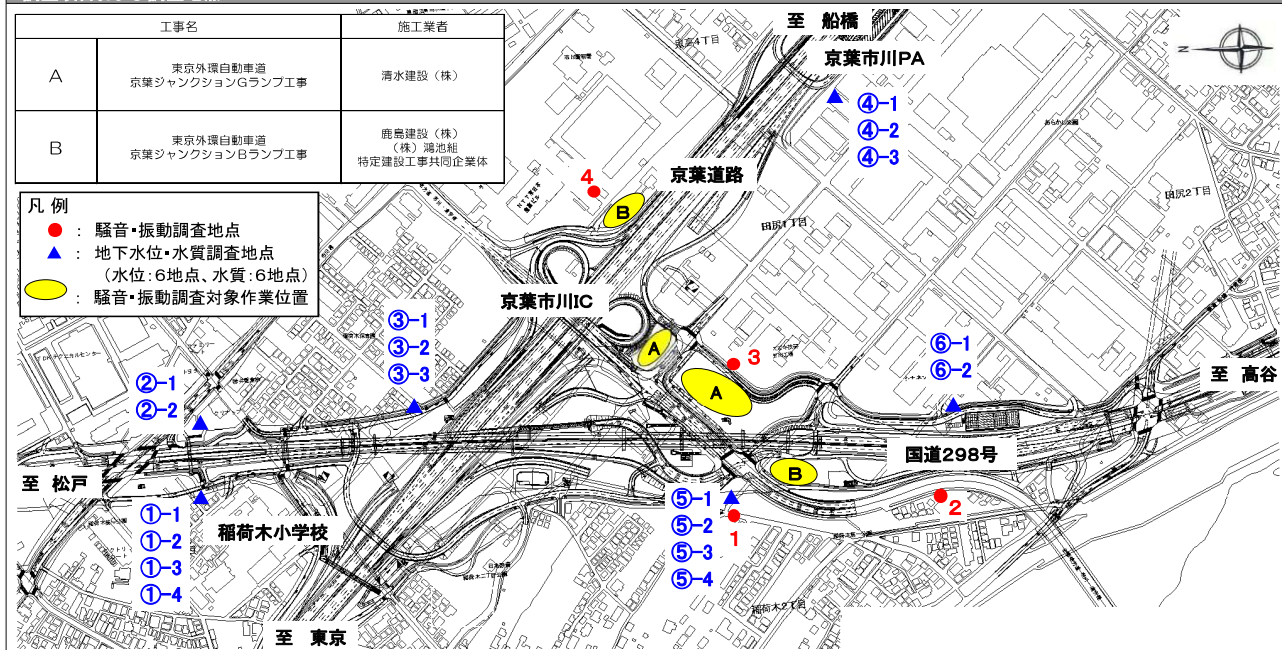
東日本高速道路株千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動調査、地下水位及び地下水質についての調査を毎月実施しております。

■連絡先：東日本高速道路株

千葉工事事務所 技術課

TEL:043-350-3342

1.調査項目および調査地点



1.騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。

○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル L_{A5} (dB)	振動レベル L_{10} (dB)	調査日
1	京葉ジャンクション Bランプ工事	57	35	7月24日 昼間(8時~17時)
2	京葉ジャンクション Bランプ工事	64	44	7月24日 昼間(8時~17時)
3	京葉ジャンクション Gランプ工事	62	44	7月24日 昼間(8時~17時)
4	京葉ジャンクション Bランプ工事	62	42	7月24日 昼間(8時~17時)
法律による規制基準		85	75	

解説

●騒音レベル L_{A5}

騒音の大きさを騒音レベルといわれ、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。

●振動レベル L_{10}

騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

2.地下水調査結果(採水日:R7年7月23日、24日)

地下水調査結果を下の表に示します。

毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。

○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①				②		③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
pH	7.4	7.9	8.1	8.1	8.2	8.3	8.0	7.7	8.1
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
調査地点	④				⑤		⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑤-4	⑥-1	⑥-2
pH	7.8	8.2	8.0	7.0	7.7	8.1	8.1	7.7	7.8
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

解説

●pH(水素イオン濃度)

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7が中性であることを表しております。

●六価クロム

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.02mg/リットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、当試験において六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

3.地下水位調査結果

地下水位の調査結果を下の表に示します。

○地下水位の低下が一部で確認されました。
引き続き注視していきます。

に就いては、既に報告されています。

単位：T.P.m

調査地点	①				②		③			
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3	
R7	5月	0.300	-0.020	-0.390	-0.870	-0.710	-0.950	-0.010	-0.440	-0.830
	6月	0.550	0.080	-0.360	-0.890	-0.700	-0.960	0.130	-0.490	-0.890
	7月	0.170	-0.140	-0.460	-0.930	-0.780	-1.030	-0.100	-0.920	-0.490
調査地点	④				⑤		⑥			
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑤-4	⑥-1	⑥-2	
R7	5月	0.250	-0.760	-1.600	-0.580	-2.400	-3.410	-3.860	0.200	-2.550
	6月	0.120	-0.910	-1.690	-0.730	-2.510	-3.340	-3.820	0.170	-2.540
	7月	0.090	-0.940	-1.720	-0.700	-2.420	-3.280	-3.830	0.090	-2.460

解説

●T.P.m

東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。

